

反対した議員の主な理由は「説明不足」などタイミングの問題

計画を進めるに当たっては、市民理解が得られるよう十分な説明を

再整備後の土地利用のイメージ



市役所移転の主な理由

庁舎位置を⑤街区とすることにより、④街区においてシンボリックな「みどりの大空間」を創出するとともに、隣接する民間活力導入エリアに「職・学・住・楽」などの、まちの魅力を高める多様な機能が集積した複合施設を誘導し、枚方市駅周辺地域の活性化につなげるため。

9月定例会で、市役所の位置条例が上程され、出席議員の3分の2の賛成を必要とする特別多数議決として記名投票により採決が行われ、賛成18票、反対12票で、可決に必要な20票に届かず否決となりました。

この条例は、市役所庁舎を④街区にある現在の位置から、⑤街区に移転するというもので、市駅周辺再整備における④街区の民間活力導入エリアの活用など、④⑤街区のまちづくりを具体化していく上で、土地利用の大きな要素となる新庁舎の位置などの方針を、早期に明確に示す必要があることから、上程されたものです。

枚方市駅周辺再整備は、市及び市駅周辺が抱える様々な課題を解消し、未来のまちの姿を見据え、より魅力的なまちにしていくための起爆剤となるものであり、今後、スピード感をもって着実に進めていくことが、市駅

周辺だけでなく、市域全体のさらなる活性化につながり、市民の利益に大きく寄与するなどの理由から、私たち大阪維新の会枚方市議会議員団は賛成をしました。

反対された議員の中には「④街区の大ホール跡地に庁舎を建替えるべき」という意見がある一方で「⑤街区に移転することは理解できるが、まだ市民への説明が不足している」という意見もあるなど、市役所の移転自体に反対されている議員は一部であり、市が進める計画そのものが全面否定されたものではないと考えます。

そのことから、今後、効果や財政負担などについて、市が説明を尽くし、市民の皆さんの理解が深まれば、計画を進めていくことも可能になると思われます。

私たち議員団としても、市駅周辺再整備が前へ進むよう、引き続き丁寧な情報発信に努めていきます。

かじや知宏 プロフィール

＜経歴＞昭和43年9月12日、枚方市に生まれる。阪保育所、殿山第二小学校、第三中学校、牧野高校、龍谷大学文学部社会学科社会福祉学専攻を卒業。(株)報知新聞社での11年間の勤務を経て、かじや行政書士事務所開業。大阪府行政書士会綱紀委員、同企画広報部副部長、同枚方支部副支部長、NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議理事、中司宏事務所政策スタッフ等を歴任。＜現在＞枚方市議会議員(2期目、大阪維新の会枚方市議会議員団代表、教育子育て常任委員会委員長、議会運営委員会副委員長等)、かじや行政書士事務所代表、日本維新の会大阪府枚方市支部政調会長等。＜趣味＞読書、スポーツ観戦、神社仏閣巡り、観劇。



政策や活動の詳細はウェブサイトやSNSをご覧ください



ウェブサイト



Facebook



Twitter



LINE 公式アカウント

「友だち登録」をお願いします



右のQRコードをスマートフォンやタブレット型端末のLINEアプリで読み取り「友だち追加」ボタンを押してください。

